

### 3. 第 57 回年次学術講演会

本年度の学術講演会は、9月25日(水曜日)から27日(金曜日)の3日間に北海道大学工学部及び高等教育機能開発総合センターを会場として開催された。北海道は初秋の時期であり、悪天候による寒さが心配されたが、3日間ともほぼ快晴となり、無事に講演会を終えることができた。

表-1は、今回の北海道大会と過去2度の大会における講演者数と聴講者数を比較している。全国大会の運営形態が変化してから最も多い発表件数とセッション数となった。インターネットによる投稿及び参加申し込みがかなり定着してきているように見受けられた。

講演件数の多さから、会場を工学部と高等教育機能開発総合センターの2箇所とした。これまで、北大で開催された過去の全国大会では教室の狭さが指摘されていた。本大会は過去の発表件数が多く、混雑は必死と思われた。参加費が有料ということもあり、教室に入れられない事態の回避が必要となった。このため、定員を増やすための対策を実施した。具体的には、70人教室の定員を100名近くするため大会前日に机の搬出と椅子の搬入を行った。およそ30教室でこのような対策を実施した。これによって、約1,000名の定員増となった。実際には立見が出るケースはあったが、なんとか入れないという状況にはほぼ至らずに講演会を終えることができた。

実行委員、実施委員およびアルバイト学生が責任を持って運営に当たるため緑のスタッフジャンパーを用意した。また、両会場間の案内で不備がないよう、案内専用のアルバイト学生を配置した。それらの効果から、会場の分散と案内掲示の削減を行ったにもかかわらず参加者から案内についてのクレームは少なかった。各部門の各位には過剰な責務をお願いすることとなったが、特にトラブルなく終了できたことに感謝する。

液晶プロジェクタの利用が他の学会で多くなり、全国大会で導入すべきかどうかについて数年前から全国大会委員会で検討されてきている。北海道大会では、第部門・第部門・CSセッションでの液晶プロジェクタ利用の試行を行った。全国大会は短時間で多くの発表を実施することになっており、トラブルの発生が懸念された。しかし、実際にはこれらの部門での対応が徹底していたため、事前に心配されたようなトラブルは起こらなかった。課題として、器材のレンタル料などのための費用の増大及び対策のための作業量の増加が挙げられた。

会場系のアルバイト人数をはじめとする全体的な簡素化については、液晶プロジェクタの試行を除いて過去2カ年の全国大会を基本的に継承した。参加数、優秀講演賞記入用紙の回収は、順調であった。表2は学術講演への部門別に日時別の参加者数を示している。3日間の累

計は、23,501人であった。新しい運営体制となってからは最多となった。最終日の最終セッションを除いて常時2,500名の方々が講演に参加されており、参加者の皆様の熱意に感謝する次第である。一方、表3は、この優秀講演者表彰制度による受賞者の氏名と講演題目である。貴重な成果を立派な講演として結実された各位に敬意を表したい。

最後に、研究討論会会場の変更及び第部門と第部門での教室変更が直前にあり、多くの参加者にご迷惑をお掛けした。幸いにも会場の実施委員、実行委員、学生アルバイトのご協力によって、大きなトラブルに至らなかった。現場担当者は、発表件数の増加により教室を全て使う運営を強いられている。今後、大会の肥大化を抑制する対策について再度検討すべきと考えられる。

(学術部会副部長 萩原亨)

表1 講演者数と聴講者数

			平成12年度 (東北大会)	平成13年度 (西部大会)	平成14年度 (北海道大会)
登録	投稿種	会員種	人数	人数	人数
講演者	電子	一般	2,056	2,248	2,776
		学生	1,188	1,068	1,191
		小計	3,244	3,316	3,967
	紙面	一般	517	341	250
		学生	129	87	109
		小計	646	428	359
	計		3,890	3,744	4,326
聴講者	事前前	会員・正	763	624	817
		会員・学生	167	112	141
		非・一般	72	28	60
		非・学生	20	20	23
		小計	1,022	784	1,041
	事前後	会員・正	297	125	173
		会員・学生	35	4	17
		非・一般	97	51	51
		非・学生	8	1	9
	小計		437	181	250
	事前計		1,459	965	1,291
	当日	会員・正	660	783	643
		会員・学生	131	116	225
		非・一般	154	174	102
		非・学生	62	46	37
		小計	1,007	1,119	1,007
	計		2,466	2,084	2,298
座長(講演者・事前聴講申込者を除く)			237	250	229
合計			6,593	6,078	6,853

表2 学術講演会への部門別参加者数

セッション	9月25日				9月26日		9月27日			
	午前1	午前2	午後1	午後2	午前1	午前2	午前1	午前2	午後1	午後2
第 部門	437	548	593	559	568	604	513	556	437	277
第 部門	90	195	214	177	151	164	150	183	117	59
第 部門	386	424	485	467	422	519	347	434	339	185
第 部門	279	346	334	325	268	322	250	309	297	230
第 部門	407	466	543	521	485	520	487	505	361	235
第 部門	213	234	236	205	190	178	195	212	179	115
第 部門	178	221	200	213	173	211	168	213	143	61
CS+SS	116	201	247	271	157	223	123	172	137	26
合計	2106	2635	2852	2738	2414	2741	2233	2584	2010	1188
累計	23501									